

会 議 録

1 会議名

平成28年度第13回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

平成29年度中郷区の主な事業について

（2）協議（公開）

自主審議事項について

（3）その他（公開）

3 開催日時

平成29年3月29日（水）午後6時30分から午後7時45分まで

4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：荒川清尊、岡田雅範、坂田浪平、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、
古川由美子、水嶋敏昭、陸川昇一

・ 事 務 局：山田弘中郷区総合事務所長、見波正美次長、城戸俊夫市民生活・
福祉グループ、教育・文化グループ長
総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、樋口和輝主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【丸山班長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以

上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録確認：「古川由美子」委員と「水嶋敏昭」委員に依頼。

始めに、報告事項（１）の「平成 29 年度中郷区の主な事業について」事務局の説明を求める。

【見波次長】

- ・資料No.1 により、見波次長が説明

【高橋会長】

今ほどの説明について質問・意見等を求める。

【竹内(靖)委員】

毎年、消雪パイプや流雪溝の修繕費が予算計上されるが、修繕の成果があまり出ていない気がする。限られた予算であることから、きちんと計画性を持って理に適った修繕をしていただきたいと思っている。また、観光施設等整備事業に「泉縄文公園ほか」との記載があるが、「ほか」とはどのような施設なのか。

【見波次長】

中郷区は消雪パイプの数が非常に多く、毎年修繕箇所が出ている。これまでも様々なトラブルが生じ、その都度対応してきたが老朽化などにより、もはや部分的に手をかけても十分に機能しない状況となっている。抜本的に改修をする時期にきており、今後、市の整備計画に盛り込んだ中で、優先順位を付けながら順次整備する必要があると考えている。なお、観光施設等整備事業の件については、確認のうえ次回の協議会で改めて報告させていただきたい。

【山田所長】

中郷区の場合、消雪パイプのリフレッシュ計画を立てていないというのが現状である。このため、例えば井戸については専門的な業者を入れながらしっかりと調査するなど計画的に実施していく必要があり、集約先の板倉区へもその旨申し入れてある。なお、防衛の調整交付金に係る芋川の排水整備工事が今年度で終了することになる。来年度は、保健センターの屋上防水や外壁工事に同交付金を使うことになるが、その後消雪パイプの整備に回せていけると考えている。中郷区の消雪パイプはいずれも敷設後かなりの年数が経過しており、順次更新していかなければならないことは十分に

認識をしている。

【陸川委員】

スポーツ活動推進事業についてだが、予算の結果がどのようになったのか各団体も気にしていると思われるため、通知をお願いしたい。

【城戸G長】

来年度の予算が確定したので個々の事業について、後日、各団体へ通知したいと考えている。

【古川委員】

二本木駅駐車場舗装修繕事業についてだが、予算が少ないと思われる。この予算でどの程度の修繕ができるのか。

【見波次長】

窪みや、穴が開いているなど危険な箇所があった場合において、応急的に修繕するための最低限の費用である。当駐車場の舗装はもともと路盤が弱いため、いずれは大規模な修繕が必要となってくる。このため、将来的にトイレの改修を始めとする駅前との一体的な整備を考えていることから、大規模な修繕の予算化を先送りしたものである。

【坂田委員】

多面的機能支払交付金についてだが、この交付金はいつ終了するのか。

【見波次長】

国の政策は基本的に5年単位となっている。今年が何年目に当たるのか、手元に資料がないためはっきりしないが、恐らく2年目か3年目だと思われる。確認のうえ次回の協議会で改めて報告させていただきたい。

【高橋会長】

私から1点申し上げたいことがある。「えんじゅの郷」が「みのりの丘」に移転したことに伴い、旧えんじゅの郷跡地をどのように活用していくのか、今後何らかの形で協議ができればと思っている。

【高橋会長】

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特になければ、報告事項（１）の「平成 29 年度中郷区の主な事業について」は、これで閉じることとする。

次に、協議事項（１）の「自主審議事項について」継続審議事項となっている「勝馬投票券の特定財源」について、事務局が示した審議スケジュール及び課題の進め方に沿って協議する。去る 3 月 4 日に開催された活動報告会において、中郷区が抱える地域の課題と目指すべき方向性について意見交換を行った。事前に配布された資料 No. 2-1 は、この時に使用した資料と同様のものである。また、資料 No. 2-2 は意見交換で出た主な発言内容がまとめられている。本日は、これらの資料を基にして各課題とそれぞれの目指すべき方向性を再度整理したいと考えている。各委員の発言を求める。

【竹内(靖)委員】

この資料を見て、中郷区には多くの課題があると改めて感じている。しかしながら、全ての課題を地域協議会が関わるのではなく、例えば産業振興の特産品開発などは然るべき団体が考えていく必要がある課題と言える。なお、克雪や子育て支援、二本木駅などは地域協議会が積極的に関わっていくべきと思われる課題であり、今後の方向性を付けていければと思っている。また、空き家や移住については基金の使途という観点から見ると、方向性がうまく定まらない分野と言える。いずれにしても、今後整理をして的を絞っていかないと、常に大きな枠の中で協議を進めていかなければならなくなり、いつまでたっても答えが出ない可能性がある。

【高橋会長】

今は、中郷区が抱える地域の課題を拾い出している段階であり、今後は以前に事務局で作成した審議スケジュールをベースに進めていくことになる。なお、課題の中には、基金の活用の可能性を始め、場合によっては事業提案をしていくことが必要となる分野も出てくると思われる。この辺りはある程度の段階で整理をしていくことになる。このため、現時点では課題は課題として挙げておいて、整理は次のステップで煮詰めていかなければならないと考えている。

【坂田委員】

挙げられた様々な課題からは、大体の方向性が見えてきている気がする。例えば、産業振興や暮らしなどは一つのテーマとし、これをベースにしていけばおのずと方向性が定められていくと思われる。最終的には、テーマを 2 つ位に絞り込むのがよいの

ではないだろうか。このようなことを、これから目指していき方向性を定めていくことが重要である。また、今後は地域協議会で整理した課題を基に、各地域に出向き住民の声を吸い上げる必要があると思っている。

【高橋会長】

先般開催された活動報告会の中でも、地域を幾つかに分け意見交換を行い、地域住民の声を聞きたい旨話をしたところである。事務局で意見交換のスケジュール案を組んでいただき、次回の協議会において提示をお願いしたい。

【古川委員】

話が逸れるが、中郷村当時、八斗蒔の集落に「かにかにランド」という公園が造られた。その後、同公園の維持修繕は集落のみで行うことになったが、年々廃れてきている状況である。何とか整備を行いたいが、よい手法がないかお聞きしたい。

【見波次長】

会長が言われているとおり、今後地域に出向き意見交換をすることは、中郷区をどのようにすればよいのか住民の皆さんからも考えてもらう非常によい機会である。恐らく、いろいろな意見が出てくると思われるが、これを皆さんから整理してもらいとともに、それを実現するために誰がどのように行うのかも併せて整理してもらいたいと考えている。場合によっては、行政が入らなくても地域の皆さんで解決できるケースがあり、今の話はまさしくこれに該当する。このため、手法としては地域活動支援事業の制度を有効に活用していただきたいと考えている。

【陸川委員】

中郷区だけではないが、人口減は大きな課題となっており、子育て支援の必要性を感じている。今の若いお母さん方は、子育てに関してなかなか分からない部分もあるかと思う。このため、相談教室を開設するのも一つの手である。また、保育園は預かってくれる時間に制約があることから、勤めに行けない場合がある。中郷区独自の支援策を見出していくことができないだろうか。そうすれば、中郷区で働く人も増えることが期待される。このようなことも考えていければと思っている。

【竹内(靖)委員】

意見交換の仕方も大事な点になってくると思っている。集落単位に分けると、子育て世代の若い方々は出づらくなり、ほぼ出ないことが予想される。大体は、集落の重鎮が集まり苦情や要望を伝えるだけの会になってしまうような気がする。このため、

対象者を世代別にするなど工夫が必要になってくると思われる。

【高橋会長】

私もそう感じている。ぜひ、若い人にも参加してもらいたいと思っている。

【岡田副会長】

時期的に、近々PTA総会があることから、そこで投げかけてみるのも一つの手ではないだろうか。

【竹内(靖)委員】

PTA総会では、2年位前からまちづくり振興会の取組みについて話をさせてもらう時間をいただいております、出席者は新入生の保護者が比較的多いように感じている。なお、前もって話をしておけば、会長が意見交換の趣旨を説明するための時間は取れるのではないかと思う。

【古川委員】

総会の場で意見を言える人はあまりいないのではないだろうか。本当は言いたいことがたくさんあるのだが、こんなことは言ってはいけないのではないかとか、笑われるのではないかという思いが先行してしまい、言える人は限られてくると思う。

【竹内(靖)委員】

いろいろな人が発言し易い環境づくりにも配慮する必要がある。

【高橋会長】

委員も全員が一斉に出席するのではなく、何人かに分けるなど工夫をしなければならぬと思っている。意見交換は4月に入って直ぐに行うわけではないので、皆さんもいろいろとアイデアを考えていただき、ぜひ各世代の多くの住民から参加してもらえそうな会にしたい。全体をとおしてだが、活動報告会で出た意見等を新たに付け加えはせず、当初の資料を意見交換のベースにするということによいか。

ー全委員賛同ー

全委員より賛同いただいたので、そのように取り扱うこととする。なお、次回の地域協議会では意見交換に係る主だったスケジュールを提示することになると思うが、実施に当たっては皆さんの協力をお願いしたい。

【高橋会長】

皆さん、他に何か質問、意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特になければ、協議事項（１）の「自主審議事項について」は、これで閉じることとする。

続いて「その他」に移るが、事務局何かあるか。

【城戸G長】

- ・中郷区総合体育施設の受付管理について再報告

【高橋会長】

今ほどの件について、何か質問、意見はあるか。

【高橋会長】

再報告をいただいたが、この件については諮問事項に当たらないとのことである。このような形で報告される事案が、これからも出てくる可能性があるので、皆さんも注意しながら報告を受けてもらいたい。なお、現在の利用者に対してはもちろんのこと、地域全体に対しても周知を徹底するようお願いしたい。

【城戸G長】

すでに、利用者の方々については、前回の報告以降にチラシ等を配布している。また、一般住民に対しても総合事務所だよりに関連記事を掲載し周知しており、加えて施設への来訪者には管理人からその旨話をしていただいているところである。

【高橋会長】

事務局他に何かあるか。

【樋口主事】

- ・地域協議会だより第３号発行について報告（編集委員の竹内(昭)班長より地域協議会だよりのレイアウト等について補足説明）

【山田所長】

- ・平成 29 年度人事異動について報告
- ・退職のあいさつ

【見波次長】

- ・退職のあいさつ

【樋口主事】

- ・転出のあいさつ

【高橋会長】

委員の皆さんから、何かあるか。

【陸川委員】

先般、新聞等により頸北斎場が存続されることになった旨の報道があった。これに対し、経塚斎場についての何か新たな情報はないのか。補助金により中郷区住民は、これまで通りの料金で同斎場を利用できることになった。しかしながら、これはあくまで新斎場が供用開始されるまでの期間限定の措置となっている。頸北斎場がこのまま存続するというのであれば、中郷区住民もこのまま同じ料金で経塚斎場を利用したいと思っているはずである。妙高市の施設ということでなかなか難しい面があることは承知しているが、このような施設は上越市や妙高市など広域による全体活用にした方が、地域の住民にとってはメリットのあることだと思う。

【竹内(靖)委員】

確かに現時点では、しっかりとした情報がない状況である。この件については、次回の地域協議会で木田庁舎の担当課から来てもらい、説明いただきたい。

【高橋会長】

それでは、事務局は木田庁舎の担当課へその旨連絡するようお願いしたい。私も斎場の件では、何人かの住民から質問を受けている。そのような意味では、あまりにも頸北とは違った評価をされたと感じている。経塚斎場は妙高市との関係もありやむを得ない面もあるが、経緯等を含め説明に来ていただければと思っている。

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、4月25日(火) 午後6時00分から、「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後7時45分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail:nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。